

# シンフォニー

地域と医療が奏でる♪

NO.  
**53**  
January

年3回発行(1月・5月・9月)



## 紹介患者さん専用受付 『さくらカウンター』開設

特集：令和五年 年頭のご挨拶／  
着任のご挨拶 さくらカウンター開設のお知らせ

## 謹んで初春のお慶びを申し上げます。

2023 Happy New Year.

昨年は、新型コロナ第7波の影響で一時的に病床制限、救急受け入れ制限を余儀なくされた時期もあったものの、さまざまな面で充実した1年となりました。

まず、一昨年4月に開始した泌尿器科のダビンチ手術は順調に症例を重ねており、さらに昨年7月からは外科でも膵臓がんおよび結腸がんのダビンチ手術を開始しております。手術を受けた患者さんからは、痛みが少なく驚いた、日常生活への復帰が思ったより随分早かった、などのお声をいただいております。

診療体制の面では、整形外科、救急科、耳鼻科などで医師の増員を行いました。職員の人材育成にも取り組んでおり、昨年も各職種で難度の高い資格の取得者が誕生しています。引き続き皆さんに質の高い医療を提供できるよう、努力を続けていきます。

国からは、地域において医療機関の役割を分担する強い方針が示されており、当院は4月以降「紹介受診重点医療機関」に該当となる予定です。患者さんはまずかかりつけのクリニックを受診していただき、クリニックの先生が必要と判断したときに当院を紹介していただく流れになります。

もちろん今まで通り紹介状なしでも受診していただけますが、その場合の「選定療養費」が現行の4,400円から国の指定により7,700円に増額されてしまいます。できるだけ紹介状を持って受診していただくことをお勧めします。昨年10月にエントランスに「さくらカウンター」を設置して、紹介患者さんがスムーズに受診していただけるよう努めております。

今年も地域の皆さまのお役に立てるよう、職員一同で頑張っていまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



人材育成 優良職員表彰式 エアハイタッチ



外科ダビンチチーム



院長 藤岡 丞

## 着任のご挨拶



事務長 中村 正行

この度、2022年11月より事務長職に着任いたしました。  
どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、事務長として大切にしたいと考えていることを少し述べさせていただきます。企業を取り巻く環境の変化が加速する中、意思決定のスピードと質は、企業が競争に勝ち残るための必須条件と言われておりますが、医療機関も同様だと思います。患者さんやご家族からの要望や外部環境の変化に対して意思決定のスピードと質を上げる事、そして前例踏襲的な考えを改め、常に職員が「患者さん第一主義」をモットーに業務を遂行することが最も大切なことだと思っております。

医療を取り巻く環境は、以前の「病院完結型」から「地域完結型」に変化しております。具体的には、「普段の健康管理や退院後の継続治療」はかかりつけ医、「入院・手術・救急」は急性期病院、「リハビリ」は回復期・療養病院が担当し、その担当分野に専念できるように互いに連携を取り合って患者さんを地域で診ていくという仕組みです。

彩の国東大宮メディカルセンターはこれからも地域の中核病院として急性期機能の充実を図り、近隣医療機関・介護施設と緊密な連携を取り合いながら、地域医療に貢献していきます。病院理念である「私たちはホスピタリティの精神で患者さまと感動を共有し、高度の急性期医療で地域に貢献します」を胸に、職員一同邁進する所存でございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 紹介患者さん専用受付『さくらカウンター』開設のお知らせ

この度、紹介状をご持参された患者さん専用の受付『さくらカウンター』を正面玄関脇に開設いたしました。このカウンターを開設した目的は、紹介患者さんの受付の優先度を高くし、スムーズに外来診療を受けることができるようにするためです。地域の皆様にとって、お役に立てるカウンターになれるように職員一同努力してまいります。



### さくらカウンター設置場所



2F 院内マップ

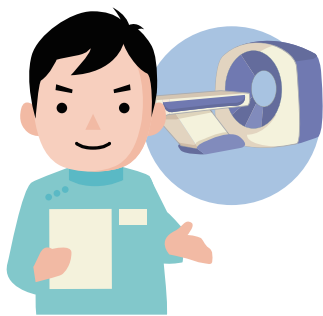
### ～地域の医療機関様へ～

患者さんに紹介状をお渡しして当院を受診していただける場合は、この紹介受付にて受付をするように患者さんにお伝えいただければ幸いです。



放射線科 部長

藪田 実



2022年8月より放射線科の常勤医として着任いたしました。

私たち放射線診断医が求められる役割は画像診断やIVR（画像下治療）です。必要な知識や技術が専門分化している昨今、放射線治療医とは名前こそ似ていますが、全国的にもほぼ別の科として分かれつつあり、当院では大森医師によって非常に専門性の高いキメ細やかな診療をされておられます。

ここでは当院での画像診断について簡単にご説明します。画像診断には様々な手段を用いて疾患を診断します。ご存知の通り、単純写真、超音波、X線透視、血管造影、CT、MRI、PET/CTなどがあります。当院の放射線診断医は主にCT、MRIやPET/CTの画像診断を担当しています。



### 1 CT (Computed Tomography: コンピュータ断層撮影)

X線を用いて体内の断面を観察することが可能です。MPR (Multi-Planar Reconstruction: 多断面再構成像) で様々な断面で観察したり、1mmよりも薄い断面を用いて微細な構造を観察したりすることができます。



### 2 MRI (Magnetic Resonance Imaging: 磁気共鳴画像)

非常に強力な磁石を用いて体内の断面を観察することが可能です。ペースメーカーなどの金属が体内に入っている場合は検査が受けられない場合があります。MRIの特徴は水や脂肪などの組成を明瞭に可視化することによって、より詳しく診断することができます。



### 3 PET/CT (Positron Emission Tomography: 陽電子放出断層撮影)

放射性同位元素を含んだ物質を体内に注入し、その集積のパターンから診断を行います。当院では最も一般的な<sup>18</sup>F-FDG (<sup>18</sup>F-FluoroDeoxyGlucose: <sup>18</sup>F-フルオロデオキシグルコース)を用いて、病変の糖代謝を観察しています。腫瘍や炎症などは正常構造よりも糖代謝が高く、その差異や程度で存在診断もしくは質的な診断を行います。PET/CTはPET画像とCT画像を融合することでより正確な診断が可能になります。

これらの3つの手段に優劣はなく、それぞれの得手・不得手を補うように有効利用し、より正確な診断に至るのが理想的です。我々放射線診断医は画像診断を行うだけでなく、画像診断の交通整理役も担っています。



# 健康たいそう講座

当院リハビリテーション科スタッフがおすすめの体操をご紹介します!



## 肩こり危険度 セルフチェック

肩こりは生活習慣を見直すと改善することがあります。右の10の項目をチェックしてみましょう。該当数が多いほど肩こりが起こりやすい生活習慣となっていますので要注意!

- ①パソコン作業や車の運転など、長時間同じ姿勢をとることが多い。
- ②運動不足気味で、家でゴロゴロしていることが多い。
- ③仕事や家庭でストレスを感じる。
- ④メガネ・コンタクトの度が合っていない。
- ⑤枕が合わず、寝苦しいことがある。
- ⑥湯船に浸からずシャワーで済ませることが多い。
- ⑦体に冷えを感じるが多い。
- ⑧いかり肩、なで肩である。
- ⑨足を組んで座る癖がある。
- ⑩バックはいつも同じ側の肩にかけている。



## 肩こりに対するストレッチ・筋トレ

毎日の習慣として取り入れたい肩周囲に対するストレッチ方法をご紹介します。体が温まり筋肉がリラックスしている入浴後は特に効果的です。

ストレッチは20秒程度を目安に行います。

### 首伸ばし

左右両側  
10秒保持  
2セット



- 顔を横に向けた状態で、手で頭を押さえて首の角度を固定します。
- 反対側の肩を下に降ろしていきます。

### 背筋伸ばし

5秒保持



- 両手を胸の前で組んで伸ばします。
- 両腕を上げて背筋を伸ばします。
- 顔を下げないように行います。

### 肩上げ下げ

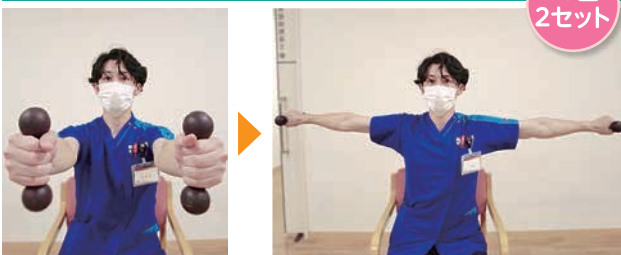
5回



- 両肩をいっぱいすくめて、そこから一気に落とします。

### 腕広げ

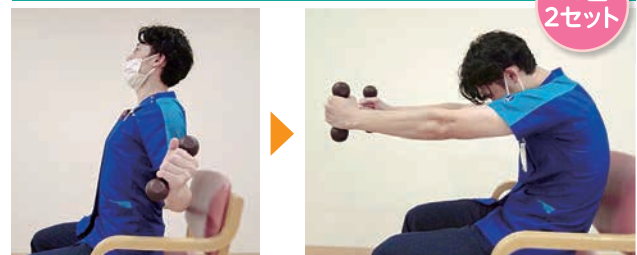
10回  
2セット



- 両手に錘を持ちます。(500mlペットボトルなど)
- ゆっくり腕を横に開いて戻します。

### 胸広げ・背中丸め

10回  
2セット



- 両手に錘を持ちます。(500mlペットボトルなど)
- 両脇をしめて、しっかり肘を後ろに引きます。
- 胸を張り、背筋を伸ばします。
- 次に両腕をしっかり前に伸ばしながら背中を丸めます。

## 運動を行う際のポイント!



- 毎日行うことが大切です。
- 反動をつけず、ゆっくり行ってください。
- 呼吸を止めないようにしてください。

- 関節を痛める場合があるため、痛みを我慢しての過度なストレッチは行わないでください。
- 痛みが強い時や、首や肩の炎症がある時は行わずに、医師へご相談ください。



手術看護科 齋藤 礼奈

私は手術看護科に勤務する看護師です。私は術中麻酔管理パッケージという特定行為研修を修了し、2022年4月から特定看護師として活動しています。

特定看護師とは…

医師又は歯科医師の判断を待たずに、医師の包括的指示のもと、一定の診療の補助（特定行為）を行うことができる看護師のことです。

手術看護とは、患者さんやご家族が手術を決定したときから、回復するまでの過程に関わる看護のことを言います。そのため手術室看護師は、手術を受ける患者さんに対して、術中を中心として、安全・安心な看護を実践しています。手術中は、外回り看護師と器械出し看護師の2名で担当します。外回り看護師は手術が円滑に進むように、主治医や麻酔科医と連携し、モニターの観察や皮膚損傷の予防等を行っています。器械出し看護師は、器械や手術野の清潔を保ちながら、主治医とコミュニケーションを図り、術野の進行にあわせて器械を医師に渡しています。

特定看護師としての活動の一つである術後疼痛管理チームは、質の高い疼痛管理による患者の疼痛スコアの減弱、生活の質の向上及び合併症予防等を目的として活動しています。当院では麻酔科医師、特定看護師、薬剤師と回診を行い、情報の共有や薬剤の検討、安全管理を行っています。手術中をよく知っている手術室看護師だからこそ、患者さんの情報や状況を理解し、術後疼痛管理チームだけでなく多職種と連携し、早期離床や早期退院に向けてより良い医療提供ができると考え活動しています。これからも医療チームで協働し、安全・安心な手術看護を目指し、自己研鑽していきたいと思えます。



## 薬剤師のつぶやき…

### 薬剤師が今よりもっと地域の方の健康や生活に寄り添うために

調剤薬局で薬をもらうときに、入院中の話をされたことはありませんか？これは、現在、病院と調剤薬局で入院した患者さんの治療内容や薬について情報を共有しているからです（情報共有を希望しないこともできます）。このように入院中の治療経過を調剤薬局と共有することで、患者さんのアレルギーや副作用を把握して、退院後もより安全な薬物治療を継続することができます。また、入院中に新しく追加になった薬が調剤薬局に在庫がないということも防ぐことができます。

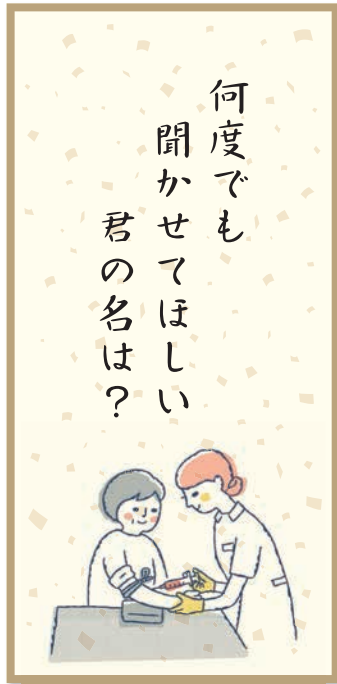
患者さん一人ひとりのためにできることを私たち薬剤師はつないでいきます。







## 彩の国東大宮メディカルセンター 医療安全川柳



厚生労働省が毎年11月25日(いい医療にむかってGO)を含む1週間を「医療安全推進週間」として定めており、各地で医療安全に関するイベントや取り組みを実施しています。当院でも、医療安全推進週間の時期に、院内の医療安全意識を高めるために、医療安全にちなんだ川柳を職員から募集し、職員による投票で優秀作品を選出するという企画を行っています。

「何度でも 聞かせてほしい 君の名は？」

この川柳は、多くの職員から選ばれて院内表彰した作品です。病院では、患者さんのお名前を確認する場面がたくさんあります。以前、院内の電子カルテに登録されているお名前を調べたところ、一番多い同姓同名の患者さんが60人以上いました。同姓同名の患者さんが同日に受診されることは珍しいことではありません。

正しい患者さんに医療・看護を提供することが、医療安全の最優先目標です。そのため、当院では何度も患者さんにお名前をお伺いしています。「何度でも、聞かせてほしい、君の名は？」にご協力お願い致します。

### ■ 診療実績

(2022年8月～2022年11月平均)

入院稼働率	87.5%	救急搬送件数	394件/月
1日平均入院患者数	255.5人	手術件数	270件/月
平均在院日数	15.4日	紹介患者数	767件/月
1日平均外来患者数	550.5人		

### ■ 病院理念

私たちはホスピタリティの精神で患者さまと感動を共有し、高度の急性期医療で地域に貢献します。



### ■ 基本方針

1. 職員ひとりひとりの成長を支援する
2. 医療の質を高める努力を継続する
3. すべての顧客(ステークホルダー)の満足度を高める
4. 健全な経営を行う

### ■ 交通案内図



JR	宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン 「土呂駅」東口より 徒歩約11分
東武アーバンパークライン	「大宮公園駅」より 徒歩約9分
自動車	首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分 東北自動車道「岩槻」ICより 約21分

